



ゼロカーボン新聞【第4号】



発行：八千代市経済環境部環境政策課ゼロカーボンシティ推進室 令和7年3月

ゼロカーボンに関する情報をお届けする「ゼロカーボン新聞」の第4号を発行しました。是非内容をご覧ください、家庭や業務へ反映するなど、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



八千代市はゼロカーボンシティ宣言をしています!!

みんなで目指そう

2050年CO2実質排出量ゼロ!!

発電設備を設置しなくても再生可能エネルギーを導入できるの？

ご自宅に太陽光パネルなどの発電設備を設置し、発電した電気をご家庭で使えたら、CO2削減になり、災害時の電源確保にもなるというメリットがあります。

しかし、発電設備を設置するには初期費用がかかりますし、ご自宅のリフォームの時期に合わせて設置を検討したいなど、すぐに取りかかれない場合もあるかと思います。

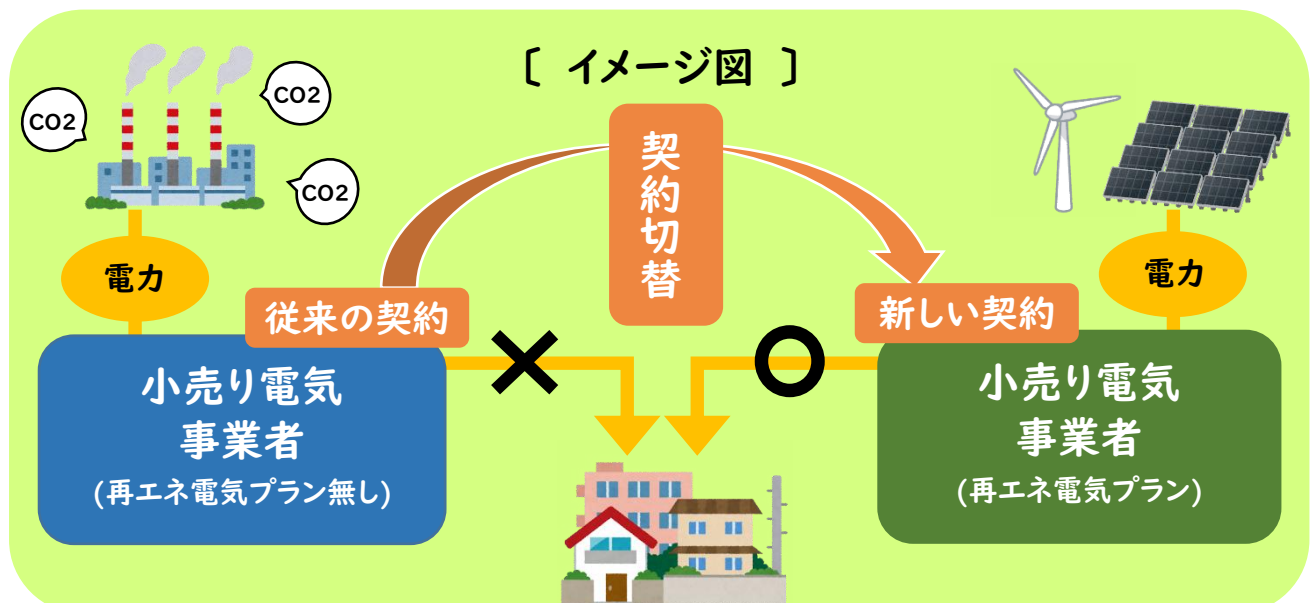
そこで今回は、発電設備を設置しなくても再生可能エネルギーを導入できる「電力切り替え」という手法の中の一つである「再エネ電気プラン」についてご紹介をさせていただきます。



電気

「再エネ電気プラン」って何？

「再エネ電気プラン」とは、小売り電気事業者が提供する再エネ電気プランを選んで契約を切り替えるだけで再生可能エネルギー由来の電気を利用できるというものです。様々な小売り電気事業者が太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーを電源としたプランを用意しています。再生可能エネルギー割合が100%のプランであればCO2排出量実質ゼロの電気となります。



再エネ電気プランに切り替える場合の注意点

再エネ電気プランは、契約を切り替えるだけで環境に配慮した電力を利用できる反面、注意しなければならない点もあります。

契約期間の縛りがあり途中解約すると違約金が発生するケースや支払い方法がクレジットカード等に限定されているケースもあるので、導入にあたっては慎重な検討が必要です。

ご自身の判断で、ご家庭に合った環境に優しくおトクな再エネ電気プランを選びましょう。

環境省 HP に再エネ電気プラン（個人向け）に取り組んでいる事業者等が掲載されていますので、電力会社を選ぶ際の参考にしてみてください。



環境省 HP

八千代市では公共施設に再エネ100%電力を導入しました

平成 28 年の電力小売全面自由化に伴い、これまで市では公共施設の電力について、費用面だけでなく環境配慮面も含めた総合的な視点で電力の調達を行ってきましたが、**ゼロカーボンシティの実現**に向けて、さらに環境配慮を重視し、令和 7 年 3 月から**市役所本庁舎および小中学校等 75 施設で、再生可能エネルギー100%電力の導入**を開始しました。



八千代市役所本庁舎

今回の取組により、八千代市の 75 施設の年間使用電力量約 1,300 万 kWh が再エネ電力に切り替わります。これは**八千代市の事務事業に使用される電気の約 33%にあたり、年間約 5,940 トンの CO2 排出を削減できる**見込みです。

5,940 トンの削減とはどのくらいなのでしょうか？ 1 世帯当たりの年間 CO2 排出量（電気、ガス、灯油の合計）は、2.52 トン CO2 *です。これで 5,940 トン CO2 を割ってみると**約 2311 世帯分**になります。

※出典：令和 5 年度家庭部門の CO2 排出実態統計調査結果について（速報値）（環境省）



やっち



×2311 世帯！

夏の暑さをしのぐグリーンカーテン

グリーンカーテンとは、**ゴーヤやアサガオなどの**主につる性植物を、窓の外や壁面に張ったネットなどに這わせて、カーテンのように覆ってつくる、緑の日除けのことです。

グリーンカーテンには夏を涼しくしてくれる以下の3つの効果があります。**過度な冷房使用を抑えることで省エネにもつながります。**一般的な作り方を紹介しますので、夏の暑さに備えてご自宅で育ててみませんか。



市役所本庁舎で実施したグリーンカーテン



- ① **日射の熱エネルギーを約 80%もカット！**
- ② **葉の蒸散作用で放射熱を抑える。**
- ③ **家の周囲の表面温度を抑える。**

ちなみにすだれの遮蔽率は50～60%，高性能の遮蔽ガラスでも 55%程度です。

(環境省 HP より引用)

4月

種まき
土づくり

1. 園芸用の土を準備する。

30cm ほどの深さがあるプランターに、底が隠れるくらいの石を敷き詰め、土をほぐしながら、ふんわりと入れる。

2. 種の準備をする。

種の外皮は硬くて水が浸透しにくいので、2 時間ほど水に浸す。ビニールポットに数粒ずつ、種をまいた上に約 1cm の厚さに土をかぶせて水をやる。



5月

植え替え
プランター

3. プランターに移す。

芽が出て本葉が 2～3 枚出てきたら、元気のないものは間引きする。ポットの底から根が出てきたら、根を傷つけないように 20cm 間隔で土ごとプランターに植え替える。

★水やりは昼間の気温が高い時間にすると水が温まり、根が傷む可能性があります。朝夕の涼しい時間にたっぷり水をやりましょう。

6月

育成

4. 誘引する。

つるは柔らかいので、丁寧に広げるようにして、うまくネットにからめる。中心の一番太い茎がネットの上端まで達したら、その先を 2～3 cm 切る(摘芯)ことで、つるが元気に成長する。

★ネットはつるが伸びる前に張りましょう。まっすぐにピンと張ることで、つるがからみやすくなります。



7月～

追肥・収穫

5. 肥料を与える。

花が咲いて実がなる頃から 1 ヶ月に一度肥料(固形)を与えるとよい。(液体肥料は 1 週間に 1 回が目安。)

6. 収穫する。

採った種は風通しの良い場所で乾かし、汚れを落として密閉容器に入れ、冷蔵庫などに入れて保管する。

お知らせ ～ 脱炭素シンポジウムを開催しました ～

令和7年2月8日(土曜日)、専門家や企業・団体・先行自治体の関係者を招き、地域脱炭素に係る講演やパネルディスカッション等を通じて、八千代市における地域脱炭素をどのように推進していくか共に考えることを目的としたシンポジウムを開催しました。

当日は土曜日にも関わらず、64 名の方にご来場いただき（※配付資料の残数により集計）、なごやかな雰囲気の中で、カーボンニュートラルに関する情報を共有することができました。

本シンポジウムをきっかけに、色々な方々と連携を深めることによって、八千代市における 2050 年ゼロカーボンシティの実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

1. 八千代市における地域脱炭素の取組みについて

八千代市における地域脱炭素に関する現状や取組みについての説明

▶発表：八千代市ゼロカーボンシティ推進室

2. 基調講演「ゼロカーボンシティ実現に向けた地域の課題と展望」

世界の脱炭素の情勢や八千代市におけるポテンシャルや展望についての講演

▶講師：特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 主席研究員（理事） 松原 弘直氏

3. 事例紹介

脱炭素に積極的に取り組んでいる企業・団体・自治体による、脱炭素や地球温暖化対策に関して取り組んでいる内容の紹介

▶事例紹介団体：株式会社 TOA シブル、一般社団法人やちよ未来エネルギー、
松戸市ゼロカーボンシティ推進担当室

4. パネルディスカッション

八千代市でこれから地域脱炭素を進めるための方向性・施策等について模索するため関係者で討議

▶パネラー：株式会社 TOA シブル、一般社団法人やちよ未来エネルギー、松戸市、
八千代市環境審議会、八千代市立村上東中学校、八千代市

▶コーディネーター：松原 弘直氏



基調講演



パネルディスカッション後記念撮影

当日の様子や発表資料等の詳細については、市HPに掲載しております。

市HPトップ>さがしかた【組織で探す】>

経済環境部>環境政策課>地球温暖化対策

「2050ゼロカーボン・ヤチヨ・シンポジウム」を開催しました



脱炭素や環境保全に関するイベントを開催する際は、市HPや
広報やちよに掲載しますので適時チェックをお願いします。



やっち